

「物価高騰に関する医療機関の緊急影響調査」報告

物価高騰が県民生活とあらゆる事業者に大きな影響を及ぼしています。地域の医療機関への影響も大きく、当協会では全国保険医団体連合会（保団連）と協力し、政府、県、自治体に対し、物価高騰や新型コロナで逼迫する医療機関への財政措置の実施を求めてきたところです。物価高騰は今後も続くことが予想される上、自治体による財政措置は対象範囲や補助額にばらつきがあり、十分とはいえません。当協会では保団連と連携し当会会員（医科、歯科の保険医）992人に対して、「物価高騰に関する医療機関の緊急影響調査」を実施しました。当会のアンケート結果は下記の通りです。

調査期間：2025年2月15日～2025年3月7日

回答数：群馬県：992件送付 回答23医療機関（回答率2.3%）

全国35都道府県：61,186件送付 回答4,658医療機関（回答率7.6%）

回答形式：グーグルフォームを利用したWebアンケート

質問事項

問1. 基本事項 ①医療機関形態について

医療機関形態	群馬回答件数	全国回答件数
1. 無床診療所	22件	3,984件
2. 有床診療所	0件	300件
3. 病院	1件	374件
合計	23件	4,658件

問1. 基本事項 ②診療科の主な標榜科（1つ）

診療科の主な標榜科	群馬標榜科数	全国標榜科
1. 歯科	11件	1,151件
2. 内科	6件	1,911件
3. 精神科	0件	189件
4. 小児科	0件	191件
5. 外科	1件	142件
6. 整形外科	2件	335件
7. 皮膚科	0件	116件
8. 泌尿器科	0件	75件
9. 眼科	0件	122件

10.耳鼻咽喉科	0件	134件
11.産婦人科	3件	112件
12.その他	0件	152件
13.無回答	0件	28件
合計	23件	4,658件

問1.基本事項 ③医療機関の所在地（都道府県をご記入ください）

青森、宮城、秋田、茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、神奈川、山梨、新潟、富山、石川、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、岡山、広島、山口、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄（37都道府県）

問2-1.診療報酬改定後の医療機関の収入について（昨年1月と比較して）

医療機関の収入	群馬回答	全国回答
1.上がった	4件（17.4%）	573件（12.3%）
2.変わらない	4件（17.4%）	1,033件（22.2%）
3.下がった	15件（65.2%）	3,051件（65.5%）
4.無回答	0件	1件

問2-2.増減の程度について（問2-1で下がったと回答した減の程度数）

増減の程度	群馬 減の程度数	全国 減の程度数
～5%未満	2件（13.3%）	598件（19.6%）
～10%未満	7件（46.7%）	1,054件（34.5%）
～15%未満	3件（20.0%）	606件（19.9%）
～20%未満	1件（6.7%）	314件（10.3%）
20%以上	2件（13.3%）	340件（11.1%）
無回答	0件（0%）	139件（4.6%）
合計	15件	3,051件

問3.光熱費・材料費の経費は、診療報酬改定で物価高騰分の補填出来ていますか

補填出来ているか	群馬回答	全国回答
補填できている	3件（13%）	382件（8.2%）
補填できていない	20件（87%）	4,275件（91.8%）
無回答	0件	1件

問4. 人件費の経費は、診療報酬改定で補填出来ていますか

補填出来ているか	群馬回答	全国回答
補填できている	3件 (13%)	451件 (9.7%)
補填できていない	20件 (87%)	4,206件 (90.3%)
無回答	0件	1件

問5. 問3、4の回答の理由についてお書きください (群馬の回答のみ記載)

[補填できている理由]

- ・ベア評価料を算定している。
- ・補填しないと迷惑をかけるので。
- ・特にない

[補填できていない理由]

- ・人件費、光熱費の高騰による。
- ・物価が高い、患者数が少ない。
- ・あらゆる物価高騰に対して診療報酬の上昇が少なすぎる。
- ・物価の高騰に保険診療の改定が追いついていない。
- ・患者数の減少、点数の低い評価。
- ・加算ばかりで、本体が上がっていない。
- ・物価が上昇して、経費も上昇。
- ・人件費も上げざるをえません。でも診療報酬は変化なし。
- ・滅菌業者は200%の値上げを通告してきました。
- ・収入が下がりすぎて補填できない。
- ・消耗物品、特に内視鏡関係（自動消毒洗浄機の各種フィルター類）の値上がり大きい。
また夏季の猛暑、冬季の寒波のため冷暖房費がかさむようになった。その他消毒液から洗剤
コピー用紙、ティッシュペーパー等ありとあらゆる消耗物品が値上がりしている。
- ・医療DX化に伴うIT企業へ支払う保守管理費も以前よりも増大している。
- ・2024年は増収でしたが経費が増え30%減益です。
- ・診療報酬改定より経費がかかるため。
- ・減収なので、補填できているとは言えない。

問6. 2024年分の賃上げを実施しましたか

2024年分の賃上げを実施 しましたか	賃上げを実施数 群馬	賃上げを実施数 全国
実施している	17件 (74%)	3,688件 (79.4%)
実施していない	6件 (26%)	959件 (20.6%)
無回答	0件	1件

問7. (問6で「実施していない」)理由について (群馬の回答のみ記載)

- ・経済的にしょうがない。
- ・公的医療機関のため。
- ・収入が下がりすぎて、賃上げできない。
- ・必要がない。

問8. 医療機関経営の現状やお困りごとなどをお書きください (群馬の回答のみ記載)

- ・人件費が上がっているのでスタッフの募集が難しい。
- ・スタッフがいない。
- ・後継者は居るが自医院で仕事してもらうのをためらう。
- ・賃上げが、物価高騰に追いついていないが、これ以上は無理。
- ・物価上昇率に伴う診療報酬の改定を早急に対応して欲しい。
- ・物価高騰。
- ・患者減のため。
- ・保険点数が低く、また自費も減少しているため、十分なスタッフ数の確保ができていない。歯科助手を雇う余裕がないため、アシスト無しで外科処置も行っている。
- ・人材不足。
- ・一般診療の点数の再評価。
- ・高点数を得るためには設備投資が必要となり支出できかねる。
- ・加算に対しての説明が大変。
- ・県とか国とか、それもいろんな部署が報告を求めてきます。
- ・ベースアップ評価料の申請でも、社会保険収入等は全部把握されているはずなので、なぜ申請書にいろいろなことを書かなければならないのでしょうか。
- ・①薬剤不足 ②看護師などの人材不足。
- ・地方の人手不足は深刻でかなり給与を良くしないと求人しても応募者がいない。現在いる職員も賃上げしないといつ離職してしまうかわからない。結果として人件費の高騰が医療経営をかなり圧迫している。
- ・ランニングコストが高い、人材紹介料が高すぎる。
- ・感染対策や発熱対応で、防護具などの着用が当たり前になってきたが、比例して廃棄するための医療系産廃も増えている、しかしその部分には補助などがなく、単に捨てるための経費がかさむ。更に今まで支給されていたマスクやガウンも支給がなく自院で購入しており益々経費がかかっており困っている。
- ・人件費の高騰と物価上昇に診療報酬と収入の増加がおいついてないばかりか、患者の受診控えも顕著である。

問9. 行政等(国・都道府県・市区町村)への要望などをお書きください (群馬の回答のみ記載)

- ・患者対応の充実のため衛生士数などスタッフの数に応じた報酬があると良い。
- ・余裕のある保険点数にしてほしい。
- ・初診料や再診料など点数が上がらないと物価高に対応出来ません。
- ・日本ファーストで行動して欲しい。

- ・点数をせめて物価に合わせてください。
- ・診療報酬を最低 10%上げて欲しい。
- ・歯科の点数を上げることが必須である。
- ・労力に見合った保険点数にしてほしい。
- ・保険点数のアップ、飲み薬の安定供給。
- ・医療機関を保護することを考えないと、崩壊してからの立て直しはとても大変です。
- ・DX と言うならば、率先して頑張してほしいです。
- ・へき地医療への補助拡充。
- ・薬を十分にクリニックに納入できるようにしてほしい。
- ・院内感染防止のため現在でも発熱患者の診療には注意を要し、消毒液から感染防護服の処理費用までかなり経費を要し苦勞する割に収益が少なく下手をすると却って赤字となりかねない。もう少し費用面で優遇・配慮してほしい。
- ・物価上昇に見合った収益がないと、職員賃上げ困難です。
マスクやガウンなどの医療産廃物の、産廃費用の補助などを検討して頂きたい。特に発熱対応している医療機関に対して。
物価高に対して、診療報酬の上がり方が少ないと思います。もう少し増やしてもらおうと助かります。

【調査の概要】

医療機関は、終わりの見えない物価高騰、診療報酬改定の影響などで経営は非常に厳しい状況です。当会では、医療機関の経営状況について緊急調査を行いました。調査では、物価高騰による影響、診療報酬改定後の状況、持ち出ししてでも賃上げせざるを得ない医療機関の逼迫した経営現状が明らかになりました。調査は緊急で2月に実施し、23件にご回答いただきました。

問 2-1 からは群馬県、全国調査共に診療報酬改定後の医療機関収入（昨年1月と比較して）が「下がった」と回答の医療機関は65%となっており、経営の厳しい現状が見えます。

問 3 からは群馬県、全国の約90%が光熱費・材料費の経費は、診療報酬改定で物価高騰分の補填出来できていないと回答しました。物価高騰により、光熱費や必要な医療材料など、あらゆる物が大幅に値上がりしています。今次の診療報酬改定は、医療者の望みからかけ離れたものだったと言わざるを得ません。医療機関経営の改善のためには、初・再診料をはじめとする基本診療料の大幅な引き上げが不可欠です。

問 4 からは群馬県、全国で高い水準で人件費が診療報酬改定で「補填できていない」と回答結果がでております。

問 6 からは群馬県、全国調査共に70%以上が2024年分の賃上げを実施しております。医療機関経営が非常に厳しい中でも賃上げをしている状況が明らかになりました。

「診療報酬を上げて欲しい」という声が多く、診療報酬の引き上げがなければ、物価高騰、医療機関の経営、賃上げも現実味がないとの意見が多数です。地域医療を守り、地域住民が安心して医療を受けることは、医療機関の安定的な経営なしには実現出来ません。問 8、問 9 のご意見や要望からは医療機関は、想像以上に厳しい状況がわかります。地域から医療機関が無くなれば、受診抑制を生み、疾病の重症化にも繋がります。医療機関の経営を安定させ、地域医療を守るために、当アンケート結果も鑑み、保団連と共に診療報酬の期中改定を強く求めます。

「物価高騰に関する医療機関の緊急影響調査」ご協力をお願い

日夜、地域医療へのご尽力に敬意を表します。物価高騰による電力料金等の光熱水費や食材料費などの高騰が、医療機関にも大きな影響を及ぼしています。

群馬県保険医協会、全国保険医団体連合会（保団連）では、物価高騰による医療機関への影響を把握し、医療機関への財政措置を実施させる要請等に役立てるため、緊急調査を実施します。

ご多忙の折大変恐れ入りますが、下記要領に沿ってアンケートにご協力をお願いいたします。

<アンケート回答要領>

* 2月28日（金）までに右記QRコードから回答フォームに入力の上、ご回答ください。

* ご回答内容は、調査の目的以外には使用いたしません。

※回答フォーム： <https://forms.gle/vN2iLkeXaDtHmSnZ9>



物価高騰に関する医療機関の影響調査の主な内容

※上記のグーグルフォームよりご回答をお願いいたします。

- ・ 診療報酬改定後の医療機関の収入について（昨年1月と比較して）
- ・ 光熱費・材料費等の経費について
- ・ 人件費の経費について

など

☆アンケートへのご協力をどうぞよろしくをお願いいたします☆

物価高騰に関する医療機関の緊急影響調査

1. 基本事項

- ①医療機関形態 無床診療所 有床診療所 病院
- ②診療所の主な標榜科（1つ） 歯科 内科 精神科 小児科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 眼科
耳鼻咽喉科 産婦人科 その他（_____）
- ③医療機関の所在地（_____都・県）

2. 診療報酬改定後の医療機関の収入について（昨年1月と比較して）

- 上がった 変わらない 下がった
（増減の程度＝～5%未満 ～10%未満 ～15%未満 ～20%未満 20%以上）

3. 光熱費・材料費等の経費は、診療報酬改定で物価高騰分の補填ができていますか

- 補填できている 補填できていない

4. 人件費の経費は、診療報酬改定で補填ができていますか

- 補填できている 補填できていない

5. 問3、4の回答の理由についてお書きください

6. 2024年分の賃上げを実施しましたか

- 実施していない 実施している

7（問6で「実施していない」理由について

8. 医療機関経営の現状やお困りごとなどをお書きください

9. 行政等（国、県、市町村）への要望などをお書きください

ご協力ありがとうございました

※本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。
群馬県前橋市本町2-15-10 前橋フコク生命ビル8F
群馬県保険医協会 事務局 川野
TEL：027-220-1125
Mail：kawano@gunma-hoken-i.com